

多様な意見を確認する6つのテーマによるワークショップ

ワークショップ

1.人中心の道路づくり / 2.道路における公民連携 / 3.安全で楽しい自転車利用

4.地下空間の利活用 / 5.世界に誇るイチョウ並木の育成 / 6.水の都・大阪～道頓堀川を中心にも～

学識経験者、民間団体、市民の方など様々な方々にメンバーとなっていただき、御堂筋が備えている資質をあらゆる角度から見つめなおし、それぞれの視点から今後の御堂筋のあり方を考えていくことを目的に、「人中心の道路づくり」、「道路における公民連携」、「安全で楽しい自転車利用」、「地下空間の利活用」、「世界に誇るイチョウ並木の育成」、「水の都・大阪」といった御堂筋に関わりが深い6つのテーマを設定し、意見交換会や座談会形式等を通じて、今後の御堂筋のあり方について議論をしました。

1 人中心の道路づくり

道路空間再編にあたっての課題を抽出し、今後の進め方を考える



2017
4/18

グループディスカッション

【場所】大阪市立大学 文化交流センター

【参加者】●コーディネーター：大阪市立大学 嘉名教授 ●学識経験者

●行政担当者(大阪市、神戸市、京都市、奈良県[関西道路研究会]、国土交通省近畿地方整備局・大阪国事務所)

→ アウトプット

「安全性の確保などに関する技術的な課題や、道路占用の特例制度等を活用したにぎわいの創出とその仕組みづくり」といった課題や、「利害関係者や管理者間で情報共有を行う場づくり、仕組みづくり」が必要という2つの課題を継続して検討すべき事項と設定され、引き続き課題解決に向けた検討の場として、京阪神3都市道路連携会議を設置することとしました。

京阪神・3都市連携の推進

神戸市・京都市の取組みの現地視察

関西道路研究会交通問題調査研究委員会みちづくり・まちづくりワークショップに参加し、各都市で実施されている新技術や課題の共有などを行いました。

左:第1回みちづくり・まちづくりワークショップ(神戸市)
右:第2回みちづくり・まちづくりワークショップ(京都市)



2017
7/26

2017
10/20

2 道路における公民連携

道路空間利活用事例の情報発信や道路空間等の利活用のあり方を踏まえ、利活用主体や住民、一般道路利用者等からの意見を取りまとめ、御堂筋の将来像につなげる

市民向けパネル展示・市民アンケートの実施や町会、商店会、御堂筋周辺の地元団体、エリアマネジメント団体等の地域関係団体等との意見交換会を通して、公民連携や道路空間の利活用のあり方に関する意見など、御堂筋の将来像に関する意見を確認しました。

2017
7/21

座談会①

【場所】中央区役所7階会議室



2018
3/2

座談会②

【場所】中央区民センター2階ホール



【参加者】

- ファシリテーター：大阪市立大学 嘉名教授
- 連合振興町会：愛日 / 船場 / 久宝 / 芦池 / 御津 / 精華
- 商店会振興組合：
せんば心斎橋筋協同組合 / 心斎橋筋北商店街振興組合 / 心斎橋筋商店街振興組合 / 宗右衛門町商店街振興組合 / 道頓堀商店街振興組合 / 戎橋筋商店街振興組合
- 地元団体やエリアマネジメント団体等の地域関係団体：
船場倶楽部/船場げんきの会 / 道修町まちづくり協議会 / (一社)御堂筋まちづくりネットワーク / NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 / なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会 / ミナミ御堂筋の会 / ミナミまち育てネットワーク
- 事務局：大阪市建設局 / 都市計画局 / 経済戦略局

→ アウトプット

【座談会】

主に、側道の歩行者空間化をはじめ、自転車や荷捌きといった交通処理、植栽、空間の活用方法、デザイン、東西方向の連携などについて意見交換が行われました。なかでも、自転車の通行や放置自転車に関して対策を図ることが課題であるという意見を多く確認しました。



【市民向けパネル展示・市民アンケート】

このワークショップでは、現在の御堂筋における各利活用の取組等について情報発信するとともに、パネル展示にあわせ市民アンケートを実施し、一般の道路を利用されているみなさまからのご意見を広くお聞きすることを目的に実施しました。その結果、「自転車のマナー改善、休息場所の確保」といった課題や、「歩行者空間を広げ歩行者が安全で快適に通行できる空間」といった将来ニーズなどを確認しました。

近畿地方整備局・京阪神3都市道路連携会議

メインストリートをはじめ、地域を活かした道づくりを進展させ、魅力的なまちづくりを展開するための施策連携等を進めていくため、「人中心の道路空間の実現に向けた取組み」、「道路を活用した魅力的なまちづくり」などについて、今後も引き続き連携した取組みを継続していくことを確認しました。



2017
9/22